

図書館だより

7月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	⑳
21	㉒	23	24	25	26	27
28	㉑	30	㉓			

○印 休館日 月曜日・祝日(20日)
月末館内整理日(31日)

日ざかりやおのが影追ふ蓬原 蛇笏

夏の日中のもっとも暑い盛りである。正午ごろから、ここに二時、三時ごろをさして言う。

(『最新俳句歳時記』より)

今年も図書館のロビーに笹竹をたてます。七夕の伝説にちなみ、親子で友達同志で短冊を結びませんか。

第42回青少年読書感想文全国コンクールの『課題図書』を貸し出します。

課題図書

〈小学校低学年〉

ゆずちゃん

かんすけさんとふしぎな自転車

でんでら竜がでてきたよ

いもむしのうんち

〈小学校高学年〉

ふうちゃんのハートモニカ

帰ってきたナチ紀州犬愛の物語

さよならの日のねずみ花火
お米は生きている

〈中学校〉

みんなの木かげ

わたしを置いていかないで

嵐の大地パタゴニア

〈高等学校〉

ザ・ギバー 記憶を伝える者

イチロー物語

コルチャック先生

これらの図書は、別表の「一坪

図書館」や各地域コミュニティセ

ンターでも利用できます。また、

「夏休みの友」の本は、図書館に

揃えてありますので併せてご利用

ください。なお、これらの図書の

貸出期間は、多くの方々に読んで

いただくために、夏休み期間中特

に一週間となりますので、ご承知

ください。

都留市一坪図書館

館長名	所在地	電話	開館時間
佐波佳子	上谷5-5-28	45-0080	日 9時~12時
佐藤泰道	大幡3417	43-2095	日 8時~11時
八代直之	大幡1541	43-3329	土 13時~15時
中江秀雄	金井294	43-2096	土 13時~16時
北村あや子	四日市場1104	43-3579	日 16時~18時
平井貢	小形山694	43-8408	金 14時~16時
前田憲	与縄1284	45-0207	土 14時~16時

今月の新刊図書案内

*一般図書

パソコン「超」仕事法

野口悠紀雄

悪妻に訊け

池田晶子

未来からのメッセージ

高橋克彦

アメリカの日本空襲にモラルはあつ

たか ロナルド・シェイファー

沈黙のファイル 共同通信社

ウィーンのカフェ 平田達治

カップルをめぐる13の物語 上・下

ホイトニー・チャドウィック

赤いツアール 上・下

エドワード・ラジンスキー

日本の常識を捨てろ！ 落合信彦

加治隆介の政界案内 弘兼憲史

行政のしくみ 佐々木信夫

住専のウソが日本を滅ぼす

毎日新聞特別取材班

外二二〇冊

*児童図書

小学生のための自由研究

宿題アイデアブック 1~3

小学生の大疑問100

動物と人のたんじょう

ブナの森は生きている

からくりおもちゃ工作

ネズンタはかせの発見

ガッツがっちゃん旅がらす

とうさんのまほう「えいっ」

地球がおこった

自由研究へ赤ちゃん

りようくん

ネコとクラリネットふき

ともだち

心の健康シリーズ(39)

じょうずな子育て

昔から「子は親の後ろ姿を見て育つ」といわれていますが、子どもがしつけを身につけていく時最も大切な役割を果たすのは、親の言葉よりも、親の姿勢や行いそのものです。教育は耳よりも目から伝わります。子どもが小さいうちから、あやしなさい、こうしなさい、ということをする親は絶えず教えています。教えられる側からすれば、これらの言葉は耳から聞いているわけですが、口に出す事柄は、いわば理想です。体が表すのは現実です。目で見たもののほうが子どもにとって、はるかに大きな影響力を持っています。どんなに口ずさぶく「約束は守りなさい」と言い聞かせたところで親が「遊園地に連れていく」「海へ連れていく」という約束をないがしろにすれば、やはり、この教えは身につきませんし、それどころか親への信用をなくしてしまいます。まさに「子は親の後ろ姿を見て育つ」のです。つまり、建て前や見栄でお化粧された顔でなく、現実の生きざまを見て育っているのです。

つきつめていえば、子育ては、親の側の問題といえます。子どもをどう育てるか、親がどう生きるにかにかかっているのです。

子どもが親の現実の姿を見て育つのなら、理想的なしつけは、完璧な親のみにしかできません。

ところが、完璧な親などあり得ません。と言いますのは、親は子どもが生まれた日から親となり、親としての時を刻み始めるのです。

ですから、親は子どものことに関して、子どもとともに成長し、学んでいくのです。

従って、親が育たなければ、子ども育たないのです。

子どもが第二子、第三子の場合になっても、子どもは一人ひとり違いますので、親はもう一度育っていかねばならないのです。

親が育つということは、単に子どもに「いけない」と教えたことを自分もがまんすることだけではなく、「熱していなければ、人を暖めることはできない」という言葉のように、子どもにこうなって欲しいと思うなら、まず親がそうして見せるのが一番です。

教育相談のご案内

日時 毎週 月~金曜日
午前9時~午後4時
場所 都留市教育研修センター教育相談室(文化会館1階)
☎(43)1323
FAX(43)1322
※秘密は厳守します。